



第12回例会

平成19年9月29日(水)  
サンパレス福島

本日のプログラム

1. 開会点鐘
2. Rソング「奉仕の理想」
3. 四つのテスト
4. 来訪者紹介と会長挨拶
5. 幹事報告
6. 地区セミナー参加報告
7. IAC大会報告
8. 各委員会報告
9. 閉会点鐘

今月・来月のプログラム

- 10月10日(水) ゲストスピーチ 二本松RC米山奨学生 アルディア・ジャヤンティさん
- 10月13日(土)～14日(日) 地区大会
- 10月17日(水) 移動例会 陸上自衛隊福島駐屯地
- 10月24日(水) クラブ協議会 地区大会報告
- 10月31日(水) 新会員歓迎夜間例会

会長挨拶

武藤 正隆会長



梨腹も 牡丹餅腹も 彼岸かな  
(正岡子規作)  
いかにも食にうるさかった正岡子規らしい俳句で、誰もが子規と同じく彼岸の牡丹餅を腹一杯にした上に別腹に秋の収穫物を食した彼岸の経験をお持ちの筈です。

秋分の日を境に、次第に夜の方が長くなり、夜の夜長が始まります。

春分の日とまるっきり昼と夜の長さが正反対の季節となり、宇宙の大いなる営みを感じます。

さて、当クラブがホストクラブを担当しました9月

19日のGSEメンバー歓迎晩餐会は大成功に終えることができ、皆様の絶大なるご協力と参加に心から感謝申し上げます。

また9月24日(月)にはリトルリーグマイナーチームを励ます第10回「大声杯」大会はあづま球場にて県内4チーム、県外から仙台西と山形の2チーム、計6チーム約120名の小学2年生から小学5年生までの参加者によって競われました。



(お父さんお母さんに感謝の言葉の入った選手宣誓式)

決勝戦は福島リトルリーグと白河リトルリーグの白熱した試合となり、最終回6回裏、福島リトルリーグの逆転打にて3対2で福島リトルリーグが劇的な優勝をしました。少年たちの野球能力の高さと野球にかけける情熱に大変驚き、また感動しました。



(日本リトルリーグ野球協会東北連盟福島・リトルリーグ野球協会の富田健三郎会長より10回を記念して表彰状の贈呈)



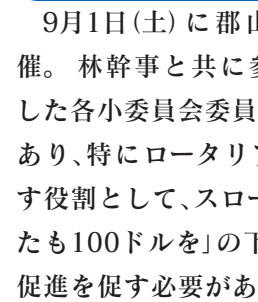
地区セミナー報告

会員増強・退会防止セミナー 福田 順一委員長



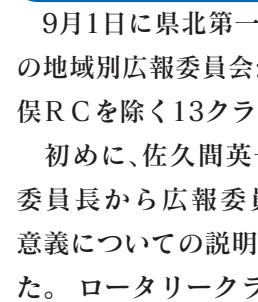
8月26日に総勢5名にて参加。県内各地から、大勢の参加者。会員増強・退会防止セミナーから、会員募集の際には、ロータリーの倫理をきちんと説明することが必要。また、世代を超えて皆で出来る例会や奉仕活動が大切であること。さらには、人のために役立つことを実践していくことを自負した人が奉仕の理想を体現するロータリアンであることなどを学び、今後、武藤会長の下で勉強して参りたい。

ロータリー財団セミナー 齋藤 実 委員長



9月1日(土)に郡山市にて開催。林幹事と共に参加。参加した各小委員会委員長の発表があり、特にロータリアンが果たす役割として、スローガン「あなたも100ドルを」の下に、寄附の促進を促す必要があるというものでした。寄附がないと3年後には運営的困難を迎える現状の説明もあり、さらに、会員の自主的な寄附を促す必要性を認識し、「ロータリー財団はあなたなのです」という言葉が身にしみました。

地区別広報委員会 佐久間 功 委員長



9月1日に県北第一区・第二区の地域別広報委員会が開催。川俣RCを除く13クラブが出席。初めに、佐久間英一地区広報委員長から広報委員長会議の意義についての説明がありました。ロータリークラブの「公共イメージの高揚」として「広報の強化」が挙げられています。様々な奉仕活動を時代と地域社会のニーズにあった活動として、社会に対する認知度を高めていくことが広報の役割であること。突き詰めていけば、私たち会員一人一人の存在がロータリーの広報活動となることでした。

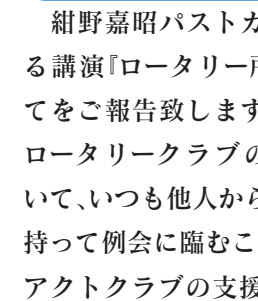
米山セミナー 穴戸 英男 副委員長

米山記念奨学会事業の使命は、日本と世界の架け橋になり、国際社会で活躍し、ロータリー運動のよき理解者となる人材を育成する事です。一番の目的は世界平



和、異文化への理解や地域交流に積極的な学生を支援することにより、民間最大の奨学事業です。現役の奨学生は、奨学金により勉学に時間が取れ、ロータリーの例会に出席し、先輩方を参考とし感動、ロータリーが私を変えてくれた、他人に無関心だったのが他人の幸せを願う様になったと述べました。こういった学友を育てる為に、皆様のご協力をお願い致します。

奉仕プロジェクトセミナー 廣澤俊樹委員長



紺野嘉昭パストガバナーによる講演「ロータリー所感」についてをご報告致します。「理想的なロータリークラブの条件」について、いつも他人から学ぶ姿勢を持って例会に臨むことや、ロータリークラブの支援などが挙げられました。今後会員の増強はもとより、既存会員強化にも努める必要性を改めて感じて参りました。